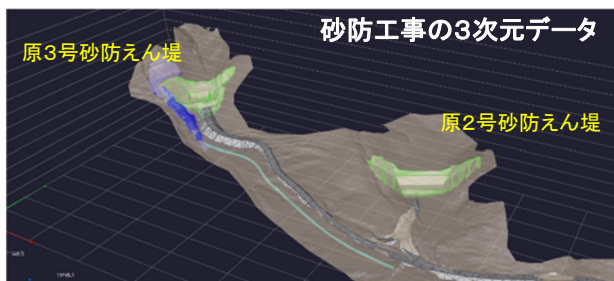


廿日市市 原地区の工事現場でICT見学会を開催しました！

7月21日に廿日市市原地区の砂防工事現場でICT（情報通信技術）活用の見学会を開催しました。見学会には、中国地方整備局職員をはじめ、地元住民の方など約40名が参加し、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、ドローンによる3次元レーザー測量の状況や3次元設計データに基づいて現場を掘削する「ICT建設機械」の操作体験、3Dプリンターで製作した砂防えん堤模型を活用した現場における情報共有の状況などを確認しました。今後も、1日でも早く安全に砂防えん堤をつくるために現場で行っている取り組みを紹介していきたいと思ひます。



【ICT活用の確認内容】

- ①ドローンによる3次元レーザー測量
- ②3次元設計データの作成
- ③ICT建機での施工(小型・中型機)
- ④3次元設計データを活用した測量
- ⑤地上型レーザースキャナによる計測
- ⑥3DプリントCIMモデルの製作



平口衆議院議員ご挨拶 →

見学会開催挨拶の状況



ドローンの自動航行による測量状況を現場に設置したモニターで確認 →

ドローンによる3次元レーザー測量



整備局職員の体験状況

↑
地元住民・廿日市市職員による体験状況

ICT建設機械の操作体験



3次元設計データを活用した施工のチェック



Mr.エンテ
(3Dプリント版)

3Dプリンターによるモデル展示